

各 位

会 社 名 ターボリナックスHD株式会社
 代表者名 代表取締役社長 森蔭 政幸
 (コード 3777・JASDAQ)
 問合せ先 取締役経営企画管理本部長
 飯富 康生
 (TEL. 03-5809-1850)

営業外収益及び営業外費用の計上、並びに
 平成 25 年 12 月期第 2 四半期連結累計の連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 6 月 30 日）において、多額の営業外収益及び営業外費用を計上いたしますので、その内容をお知らせするとともに、平成 25 年 2 月 18 日に公表いたしました平成 25 年 12 月期第 2 四半期連結累計の連結業績予想実績値との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の内容

①為替差益 4,194 千円

当社の子会社であるターボリナックス株式会社の平成 25 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間において発生した為替差益を計上するものであります。

2. 営業外費用の内容

①持ち分法による投資損失 4,196 千円

当社の持ち分法適用会社である Turbolinux China Co., Ltd の平成 25 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間において発生した損失に対する当社グループ持ち分にかかる投資損失を計上するものであります。

②支払利息 812 千円

平成 25 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間に発生した、平成 24 年 12 月及び平成 25 年 1 月に借入れました借入金返済に伴う支払利息を計上するものであります。

③その他 1,827 千円

平成 25 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間において発生した手形売却損及び手数料、並びに民事訴訟の和解による支払額を計上するものであります。

3. 連結業績予想数値と実績値との差異

①平成 25 年 12 月期第 2 四半期連結累計の業績予想数値と実績値との差異（平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 6 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A) 平成 25 年 2 月 28 日公表	百万円 150	百万円 △4	百万円 △4	百万円 △5	円 銭 △7.66
実績値 (B)	165	△25	△27	△28	△43.32
増減額 (C) = (B) - (A)	15	△21	△22	△23	△35.66
増減率 (C) / (A)	10.0	-	-	-	-
[ご参考]前年同期実績	31	△60	△61	△26	△40.35

4. 差異の理由

(1) 平成25年12月期第2四半期連結結果計

売上高は、IT関連事業の売上高が計画値(60百万円)を上回り、72百万円となり、順調な推移をみせました。Webソリューション事業が昨年度からの新規顧客獲得による貢献と、平成25年4月から当社の連結に組み込みましたプラスワンの売上も貢献しております。環境事業においては、計画値(90百万円)を達成し、93百万円となりました。復興支援事業の受注残の売上計上及び平成25年3月より新たに連結子会社化した株式会社東環の売上が既存顧客の維持及び新規顧客の獲得から売上が堅調に推移していることによるものであります。この結果、売上高予想の150百万円は実績値として165百万円になりました。

一方、営業利益につきましては、売上総利益率の高いWebソリューション事業の製品の伸びが営業利益額向上に貢献いたしました。しかしながら、環境メンテナンス及び復興支援事業においては、売上総利益率が低下傾向にあり、また、各販管費のコスト削減努力も協力会社等に生じる支払い手数料の増加及び人件費増をカバーすることができませんでした。結果、営業利益予想の△4百万円は実績値として△25百万円になりました。経常利益につきましては、主に営業利益の実績値により経常利益予想の△4百万円は実績値として△27百万円になりました。

当期純利益予想につきましては、経常利益の実績値により、当期純利益予想の△5百万円は実績値として△28百万円になりました。

平成25年12月期通期の連結業績予想に関しましては、平成25年5月15日に公表いたしました平成25年12月期通期の連結業績予想を修正しておりません。各事業の既存顧客に関する売上高の伸長は堅調であり、また、平成25年12月期通期の下半期には、プラスワン株式会社の本格的事業拡大による売上高に対する貢献及び復興支援事業の受注残の売上計上等が予測されることによるものです。従って、営業利益等も改善されると予測しております。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上